

発行日 平成24年1月1日

第46号

新年のご挨拶

院長 伊津野 脩

今月のトピックス

「パークシティ健康相談会」
平成24年3月3(土)
10時～14時
パークシティ白岡の2階会議室で健康相談会を行ないます。
内容は成人病健診、相談コーナー、認知症予防についての講演等を予定しています。
詳細は、後日掲示されるポスターをごらん下さい。

明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災に始まり、異常な円高、そしてタイの大洪水等で日本経済は大きな打撃を受けました。さらに、政府はいろいろ名目で、消費税率の引き上げなどの国民の負担増を計画しており、年々、家庭財政が圧迫されそうです。

医療にとっても同様に、受診率の低下により、国民の健康が阻害され、医療機関では高額医療機器の購入の買い控えなど病院機能の低下が考えられています。

このような逆風の中でも、私達は、皆様のご健康を守るため、全職員と一丸となり、医療レベルの向上を目指す努力をします。

本年も、よろしくお願ひいたします。



看護部長 高戸 幸子

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、これまで経験したことがない未曾有の大震災により我が国は甚大な被害を受けました。今なお被災地で、また避難場所で不自由な生活を強いられている人が大勢おられます。震災の翌日には、全国から多くの看護師が被災地に駆けつけ看護活動を行っておりました。当院におきましても4月に災害支援ナースを宮城県へ派遣した他に、旧騎西高校での医療支援ボランティアを開始いたしました。旧騎西高校では、現在でも約500名の方々が避難所生活を強いられています。今年もこのボランティア活動に参加し、今後、懸念されます感染症の予防や心のケアなど、被災者の健康レベルが維持できるような継続的支援を実施していきたいと思ひます。使命や熱意を持ってケアに当たれる志のある看護職に対し、今後でもできる限り協力体制を整え、サポートをしていきたいと考えております。

さて、厚労省では2009年からチーム医療の推進に関する検討会を進めております。この中では、在院日数が短縮され、限られた入院期間の中で退院後も自分らしい生活が送れるよう、きめ細かいサービスを行う退院調整看護師の役割が注目されております。看護部では昨年各病棟に研修を終了した退院調整看護師を配置し、他職種との連携のもとに退院支援を行ってまいりました。今年にはさらに、その役割を充実させ今まで以上に満足度の高い医療が提供できますよう取り組んでまいりたいと思ひます。

看護の役割がますます拡大、多様化していく中、今年も患者様、ご家族の方々に信頼され安心して頂ける地域の病院として尚、一層努力してまいりたいと思ひます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

■病院理念

安全で確実なわかりやすい医療

■行動指針

1. 良質・適切・安全・公平な医療に全力を尽くします。
2. わかりやすい言葉で説明することを心がけます。
3. 患者さまのプライバシー・価値観・自己決定権を尊重します。
4. 良質の地域医療供給システムをつくり円滑な病院連携の充実に努めます。
5. 医療・福祉・保健を通じて地域に貢献します。



発行 白岡中央総合病院
発行責任者 伊津野 脩
発行者 広報委員会
発行日 平成24年1月1日



キャンドルサービス2011が行われました

昨年の12月22日に毎年恒例の院内イベント「キャンドルサービス」を行いました。

内容はキャンドルサービス、クリスマスコンサート、サンタクロースによるイベントで、クリスマスコンサートでは中島副院長を中心とした当院職員に、今年は内科の北川医師、薬剤部実習生の松本さんを迎えての公演となりました。

「メリークリスマス!!」という伊津野院長の掛け声で始まり、この日のために準備をしたイルミネーションの輝く中、季節感あふれる曲や歌が演奏され、最後はサンタクロースが元気いっぱい登場し、会場全員で「きよしの夜」を合唱しました。患者様のよい思い出になればと思います。

当院では、今後も患者様に楽しんで頂けるよう企画してまいりますので、是非ともご参加下さい。

広報委員会

